

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月21日		記入者	内線	665
部名	生涯学習部	課名	相武台公民館	課長名	平片勝美
事務事業名	市民健康まつり事業				
予算上の事務事業名	公民館活動費相武台公民館				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		15110		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります				
基本施策名	第1節 生涯学習の推進				事業開始年度
施策名	第1施策 生涯学習機会の充実				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
教育基本法第7条 社会教育法第20条 相模原市立公民館条例					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 啓発・広報・イベント ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
相武台公民館区内の市民の健康づくり・体力づくりの普及と市民の協調・親睦を促進するとともに、三世代が交流する場としての位置づけも事業の大きな目的であり、また、健康で明るい地域社会の形成に役立てるために実施する。			主に公民館区内市民		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
平成16年5月23日(日)相模原市立緑台小学校グラウンドを主会場に以下示した内容のスポーツ・レクリエーション活動を実施した。 体力測定コーナー 健康相談コーナー ストラックアウト ゴルフゲート レクリエーションコーナー(ヨーヨーつり、けんだま、輪投げ、竹馬、大声大会、輪投げ、長靴飛ばし等) ビーチボールバレー 等					
6 関連・類似事業や他市の状況					
市内の全公民館で健康まつりを実施している。 地域住民が実行委員会を組織し、自主的な運営を展開している。					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	250	200	190	200	200
一般財源	150	100	90	160	160
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	100	100	100	40	40
人件費の合計	520	490	470	410	400
事業コスト合計(a)	770	690	660	610	600
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	市民健康まつり			対象名称(単位)	参加者数(人)
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	770	690	660	610	600
対象数	1,200	1,500	1,500	1,500	1,500
単位あたり経費(円)	642	460	440	407	400
前年度比		0.72	0.96	0.92	0.98

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	実行委員会等準備に伴う住民 参加数	指標式と指 標の説明	参加した住民の割合		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	170.0	200.0	220.0		
目標	150.0	180.0	200.0	200.0	200.0
目標達成度	1.13	1.11	1.10		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	当日住民参加者数	指標式と指 標の説明	参加者の割合		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	1200.0	1500.0	1400.0		
目標	1200.0	1500.0	1500.0	1500.0	1500.0
目標達成度	100.0	100.0	93.3		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		健康について市民が考える機会を提供することは、今後も、行政として必要なことであり、一定の成果をあげてきた。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
参加者数の向上が地域住民の健康づくりに繋がる事業であり、事業の啓発活動においても住民のパワーを最大限に生かすための環境作りを実施したい。			種目の見直しを行い、時代の変化に対応した内容に変えながら取り組む必要がある。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		地域との連携を強化し、事業効果を高める。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			